

「次世代デジタルライブラリー」
「NDL Ngram Viewer」
と
近代日本政治史研究

第24回図書館総合展 フォーラム「#NDL全文使ってみた～「次世代デジタルライブラリー」&「NDL Ngram Viewer」」

第2部 研究者活用編 パネルディスカッション

報告者 増田知子(名古屋大学大学院法学研究科)

2022.11.1

| 全文テキスト化に取り組む研究拠点

- 名古屋大学大学院法学研究科附属法情報研究センター（2008～2017年）
目的：電子法情報基盤構築
<https://jalii.law.nagoya-u.ac.jp/jaindex>
法務省JLT日本法令外国語訳データベースシステム
総務省e-LAWS法制執務支援システム
- 2018年にスピンオフ
目的：デジタル歴史情報基盤構築
「日本研究のための歴史情報」プロジェクトを佐野智也特任講師らと立ち上げ
<https://jahis.law.nagoya-u.ac.jp/news>
- 科学研究費
「近代日本の寡頭制ネットワークの政治経済史的分析」2016－2019
「日本の戦間期～占領期「富裕層」の政治経済史的分析－『人事興信録』30年間の分析」2021－

全文テキスト化データベースの作成と公開

データベース



『人事興信録』 データベース

『人事興信録』（人事興信所）のうち、明治36年版（初版）・大正4年版（第四版）・昭和3年版（第八版）を全文検索できます。



SCAPIN-DB

占領期（1945～1952年）において連合国最高司令官（SCAP）から日本政府に対して出された指令を全文検索できます。



裁判例データベース (明治・大正編)

大審院判決録（民録・刑録）等を全文検索できます。



『法律新聞』データベース

『法律新聞』1～92号（明治33年9月24日～35年6月23日）を全文検索できます。

CA Current Awareness Portal
図書館に関する情報ポータル

カレントアウェアネス・ポータルは、図書館界、図書館情報学に関する最新の情報をお知らせする、国立国会図書館のサービスです。

ホーム > 人事興信録

検索

検索キーワードを入力してください。（検索方法の詳しい説明を見る）

検索結果

名古屋大学、『人事興信録』の初版（1903年版）のデータベースを公開
2021年4月20日、名古屋大学大学院法学研究科教授の増田知子氏、同研究科特任講師の佐野智也氏らの研究グループが、人物情報を収録する『人事興信録』の初版（1903年版）の全文を全文検索できるデータベースを開設。同データベースは、明治36年版（初版）・大正4年版（第四版）・昭和3年版（第八版）を全文検索できます。また、『人事興信録』と同時代の米国の“WHO's WHO”との編纂方針の比較結果等に言及されています。また、海外 ... ac.jp/ ※2021年4月20日付で、「明治36年版『人事興信録』データベースの公開にあたり、名古屋大学からプレスリリースを行いました。」とあります。研究教育成果情報（名古屋大学） https ...

2021年4月21日

名古屋大学、『人事興信録』データベースを公開
2018年8月3日、名古屋大学大学院法学研究科の「日本研究のための歴史情報プロジェクト」が、人物情報を収録する『人事興信録』の第4版（1915年）の全文を検索できるデータベースを開設。同プロジェクトは、4年前から『人事興信録』の第1版（1903年）、第4版（1915年）、第8版（1928年）、第10版（1934年）、第14版（1943年）、第15版（1946年）のデータベースを開設。データベースの公開にあたり、名古屋大学からプレスリリースを行いました。研究 ...

2018年8月7日

名古屋大学、第8版（1928年版）『人事興信録』データベースを公開
2019年6月5日、名古屋大学大学院法学研究科の「日本研究のための歴史情報プロジェクト」が、人物情報を収録する『人事興信録』の第8版（1928年）の全文を全文検索できるデータベースを開設。同データベースは、明治36年版（初版）・大正4年版（第四版）・昭和3年版（第八版）を全文検索できます。また、『人事興信録』と同時代の米国の“WHO's WHO”との編纂方針の比較結果等に言及されています。また、海外 ... ac.jp/ ※2019年6月付で、「昭和3年版『人事興信録』データベースの公開にあたり、名古屋大学からプレスリリースを行いました。」とあります。研究 ...

2019年6月7日

【イベント】シンポジウム「総合知創出に向けた人文・社会科学のデジタル研究基盤構築の現在」（1/22・オンライン）
朝展氏（国立情報研究所教授・人文学オープンデータ共同利用センター センター長）○第二部 様々なコンテクストによるデータの構築から総合知へ・データ駆動型研究方法論の開拓を視野に入れた『人事興信録』研究
増田 ... 知創出に向けた人文・社会科学のデジタル研究基盤構築の現在」（日本学術会議）
https://www.scj.go.jp/ja/event/2022/318-s-0122.html 参考：名古屋大学、『人事興信録』データベースの公開にあたり、名古屋大学からプレスリリースを行いました。」とあります。研究 ...

2021年12月23日

『人事興信録』とは

- 1903年 明治三六年四月一八日発行 第一版
- 1908年 明治四一年六月一八日発行 第二版
- 1911年 明治四四年三月二五日発行 第三版
- 1915年 大正四年一月十日発行 第四版
- 1918年 大正七年九月十五日発行 第五版
- 1921年 大正十年六月十五日発行 第六版
- 1925年 大正十四年八月五日発行 第七版
- 1928年 昭和三年七月十日発行 第八版
- 1931年 昭和六年六月二三日発行 第九版
- 1934年 昭和九年十月二八日発行 第十版
- 1937年 昭和十二年三月十三日発行 第十一版
- 1939年 昭和十四年十月二十日発行 第十二版
- 1941年 昭和十六年十月一日発行 第十三版
- 1943年 昭和十八年十月一日発行 第十四版
- 1948年 昭和二十三年 第十五版
- 1951年 昭和二十六年 第十六版

- 明治35（1902）年に内尾直二が人事興信所を創業した翌年の明治36（1903）年に創刊した人事情報誌
- 産業革命を経た近代日本社会の最上層の人々を採録し、身分・職業・住所・略伝のほか、戸籍調査等に基づく家族・親族情報を掲載した点に特徴がある。
- 2, 3年毎に記載事項を更新して版を重ね、昭和9（1934）年に株式会社となり、戦時下での類書の統合を経て、平成21（2009）年まで刊行が続いた。

人事興信録データベース

全項目一括検索	<input type="text"/>	and										
版指定	<input type="button" value="選択なし"/>											
採録者名	<input type="text"/>	and	性別	<input type="button" value="選択なし"/>								
生年月日	<input checked="" type="radio"/> 日付指定 <input type="radio"/> 範囲指定	年	月	日	年齢	<input checked="" type="radio"/> 年齢指定 <input type="radio"/> 範囲指定						
	西暦	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	西暦	<input type="text"/>	1915	年で	<input type="text"/>	～	<input type="text"/>	歳
位階	<input type="button" value="選択なし"/>		勲等	<input type="button" value="選択なし"/>								
功級	<input type="button" value="選択なし"/>											
爵位	<input type="button" value="選択なし"/>		その他・資格	<input type="button" value="選択なし"/>								
身分	<input type="button" value="選択なし"/>		在籍地	<input type="button" value="選択なし"/>								
旧身分・家柄	<input type="text"/>	and										
職業	<input type="text"/>	and										
親	<input type="text"/>	and	親との続柄	<input type="button" value="選択なし"/>								
家族	<input type="text"/>	and										
記述部分（略伝）	<input type="text"/>	and										
出身校	<input type="text"/>	and	政党	<input type="button" value="選択なし"/>	or							
直接国税	<input type="text"/>	～	<input type="text"/>									
所得税	<input type="text"/>	～	<input type="text"/>	営業税	<input type="text"/>	～	<input type="text"/>					
住所	<input type="text"/>	and	電話番号	<input type="text"/>	and							
参照人物（親類）	<input type="text"/>	and	参照次数	<input type="text"/>	～	<input type="text"/>	全て					

II 全文テキストによる研究事例

①『人事興信録』関係

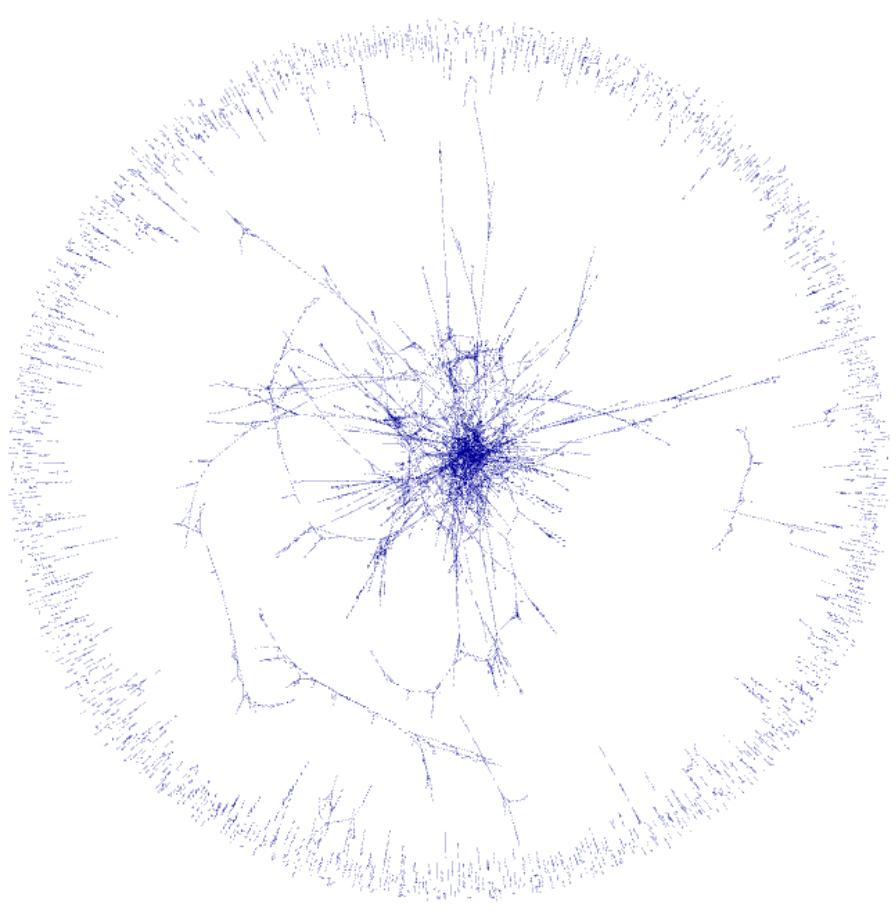
- ・増田・佐野「『人事興信録』（人事興信所）の研究」（1）-（6）『名古屋大学法政論集』2017-2019

②法情報関係

- ・佐野『立法沿革研究の新段階：明治民法情報基盤の構築』信山社, 2016
- ・「法律文における単語出現頻度の変化：法令テキストマイニングの一例」[小川, 中村, 外山. 2013] <https://doi.org/10.18999/nujlp.250.22>
- ・「Bilingual KWIC – 対訳表現抽出の可視化による翻訳支援」[小川, 外山. 2017]<https://doi.org/10.5715/jnlp.24.75>
- ・「事前学習モデルBERTによる法令用語の校正」[山越, 駒水, 小川, 外山. 2020]
https://doi.org/10.11517/pjsai.JSAI2020.0_4P3OS805
- ・「明治民法と各国民法との条文類似関係にもとづく立脚点の解析」[小山, 佐野, 竹中. 2020] https://www.anlp.jp/proceedings/annual_meeting/2020/pdf_dir/P1-24.pdf

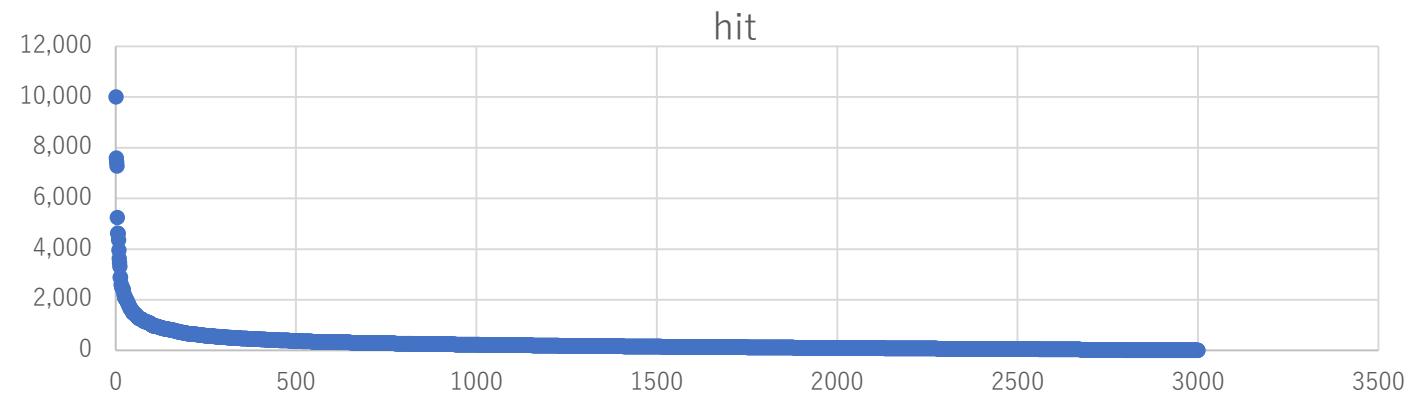
III NDL全文テキストの研究における活用可能性

大正4年版『人事興信録』採録者氏名（い～お：3587名/13917名）をデジタルライブラリー「全文から検索する」で検索

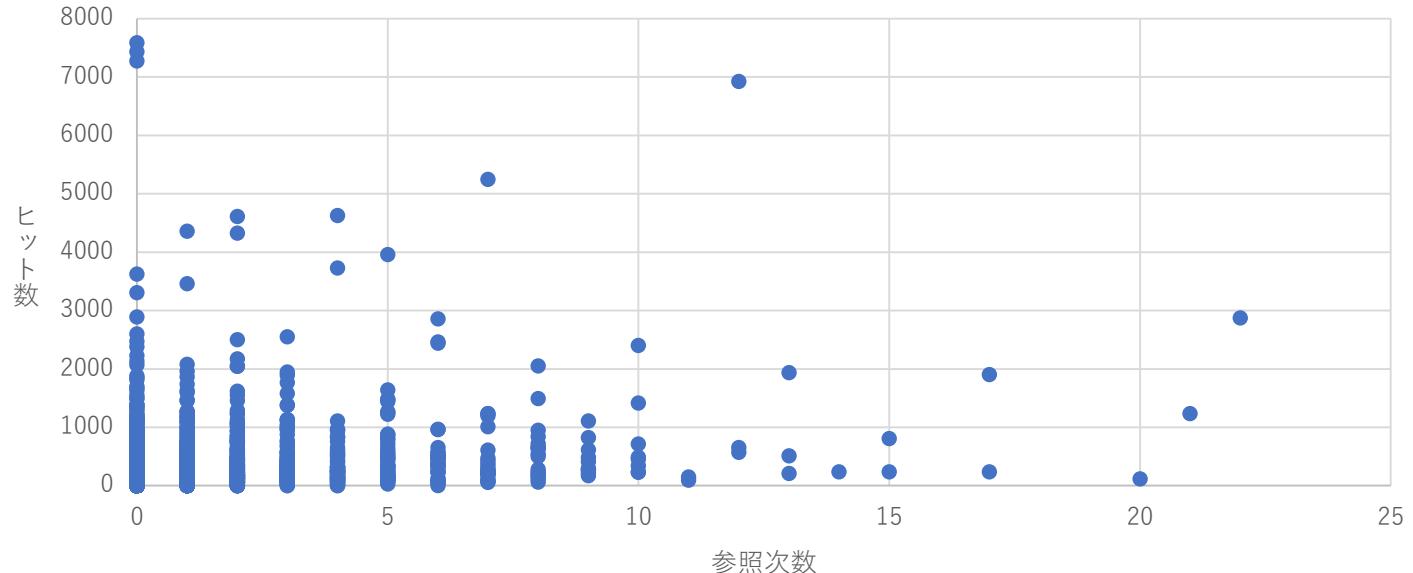


- ・『人事興信録』には社会の富裕層・エリート本人、その家族及び親戚が記載
- ・左図は採録者の親戚の相互参照関係ネットワークを可視化したもの
- ・中心部は参照次数は多いが、極めて少数の集団が占める。
- ・外縁部の次数0～2が採録者の9割を占める。→分析課題
- ・参照：増田・佐野「近代日本の『人事興信録』（人事興信所）の研究」
(1)、(2)

① 人名ヒットグラフ



② 参照次数とヒット数の関係を示したグラフ（散布図）



id	名前	hit	参照次数
1751	西平	10,000	0
1354	原敬	7,587	0
2087	星一	7,432	0
1471	林太郎	7,277	0
39	井上馨	5,248	7
2759	尾崎行雄	4,631	4
665	板垣退助	4,614	2
74	井上哲次郎	4,359	1
2874	大橋新太郎	3,959	5
1956	堀長	3,624	0
2390	徳富猪一郎	3,460	1
1489	林健	3,309	0
1024	石川正	2,889	0
2393	徳川家達	2,877	22
1066	石田治	2,600	0
510	犬養毅	2,551	3
1155	芳賀矢一	2,502	2
1727	新渡戸稻造	2,472	0
2060	細川潤次郎	2,462	6
1333	原六郎	2,444	6
1940	穂積陳重	2,405	10
95	井上準之助	2,381	0
71	井上圓了	2,227	0
279	伊東巳代治	2,172	2
2423	床次竹二郎	2,082	1
187	伊藤彌	2,069	0
2932	大河内正敏	2,050	8
313	伊澤修二	2,049	2
446	一木喜徳郎	2,045	2

分析結果と課題

① 人名の検索

最高10000件以上「西平」（にし たいら）－西平山 中西平治郎

3309 「林健」（はやし けん）－若林健次郎、松林健吉

- ・単語の検索には、提供する全文テキストデータの形態素解析が必要

② 参照次数とヒット数の関係を示したグラフ（散布図）

もし、参照次数が高いほどヒット数が多くなるという相関関係があれば、点が右上に向かう方向に分布するはずだが、そうなってはいない。すなわち、次数とヒット数の間に相関関係があるとは言えない。

- ・次数が低くてもヒットする人名が多くあるので、社会的に認知、評価されている度合いを知ることが可能となる。